

■ 提案1 快適な駅前空間づくり

ー西宮の玄関口にふさわしい駅前空間づくりー

公民連携により駅前ロータリーを「トランジットモール※」化するとともに、駅改札口へと繋がる「ペDESTリアンデッキ」を設置し、交通結節機能の拡充と都市核にふさわしい駅前空間づくりを進めます。

駅前空間の再整備

課題

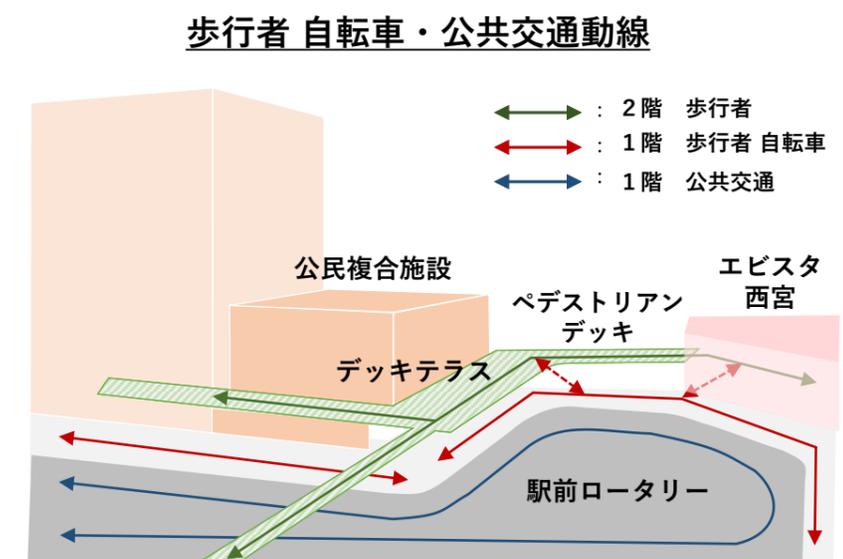
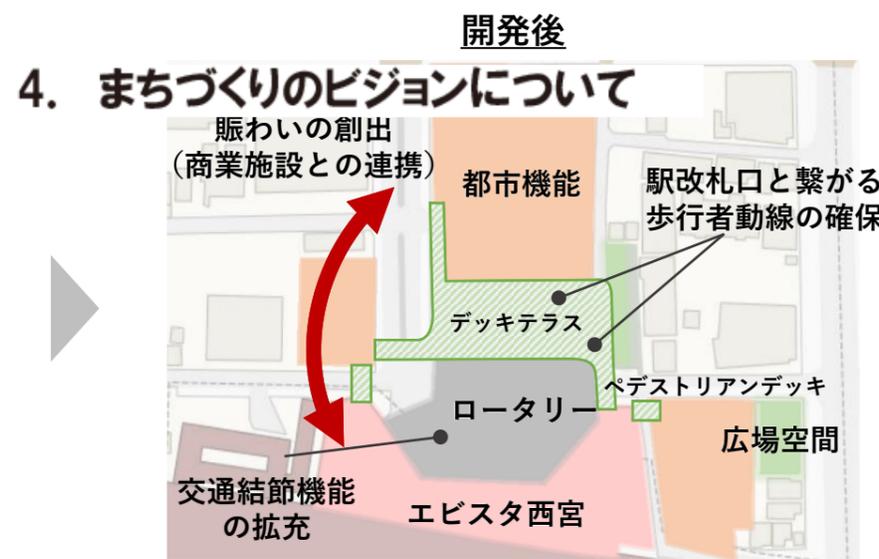
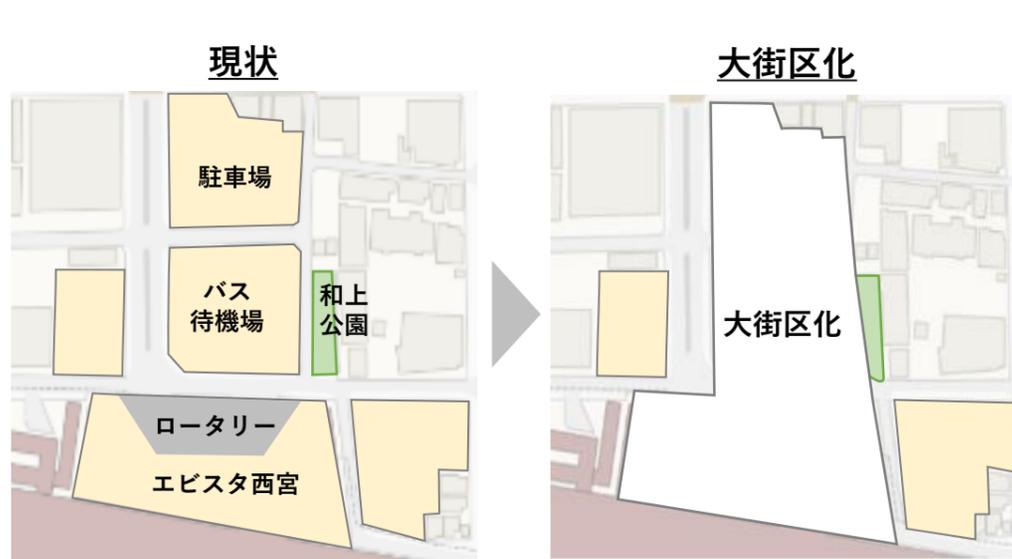
- バス乗り場が分散していたり、バスを降りた乗客が車道を横断して駅に向かうなど、乗換利便性・安全性といった面で交通結節機能が十分とは言えない
- 駅前立地でありながら賑わいに乏しく、ポテンシャルを活かした土地の有効高度利用が進んでいない

(2019年12月「本庁舎周辺再整備ビジョン(素案)中間報告」より引用)

提案

◆ 交通結節機能の拡充と都市核にふさわしい駅前空間づくり

- 駅前立地のポテンシャルを活かす大街区化(細分化された街区の統合)とあわせて駅前ロータリーへの一般車の流入を排除し、トランジットモールのような人と公共交通を優先した安全で快適な交通環境を整備します
- ペDESTリアンデッキ等の設置により、歩行者動線と自動車動線を立体的に分離することで、安全性だけでなく、まちなかにおける回遊性や快適性を高めます
- 用地買収を伴う従来型公共事業による駅前広場整備ではなく、阪神電気鉄道が共有地を含む自社用地内において自ら駅前ロータリーを整備します



西宮の玄関口にふさわしい駅前歩行者空間

- ペDESTリアンデッキの設置により、阪神西宮駅の改札口と同じフロアレベル(2階)で公民複合施設(図書館・民間施設)へアプローチすることが可能となります
- 公民複合施設の2階にデッキテラス(まちなか広場)を設置し、市民の交流やイベント等に活用することにより駅前の賑わい創出を図るとともに、緑豊かな植栽により駅前空間に憩いの場を提供します



※トランジットモール…歩行者の安全性の向上と都心部の魅力向上等を図るため、自動車の通行を制限し、歩行者と路面を走行する公共交通機関(バス・タクシー)のみが通行可能となる空間

提案2 高度利用と賑わいづくり

一文教住宅都市西宮の新たな交流と賑わいづくり

駅直結となる新中央図書館の整備を契機として、文教住宅都市西宮の新たな顔となる空間を公民連携で共創し、多世代が交流する拠点を育てます。

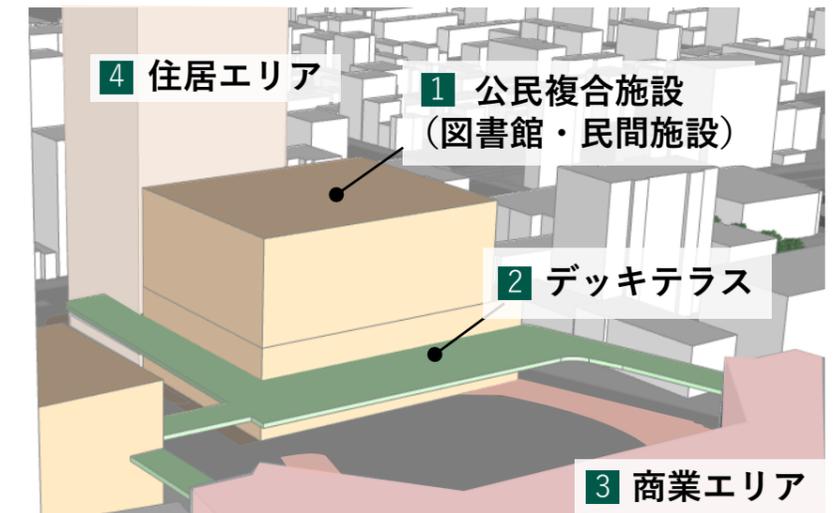
駅前空間の高度利用

課題

- 都市核に求められる多様な都市機能の集積が不十分
- 駅前立地でありながら賑わいに乏しく、ポテンシャルを活かした土地の有効高度利用が進んでいない
(再掲)
(2019年12月「本庁舎周辺再整備ビジョン(素案)中間報告」より引用)

提案

- 歩道状空地や敷地内広場など、ウォークラブルな空間整備と駅前にあわせた賑わい機能(図書館等)の誘致にあわせた規制緩和(容積率緩和等)により、駅前立地を活かした都市機能の集積と土地の有効高度利用を進めます
- 規制緩和に対する公共貢献として、西宮市のゲートウェイとしての魅力の向上に努めます



文教住宅都市西宮の新たなシンボル

1 公民複合施設

(多世代が集うサードプレイス)

■ 新中央図書館に関する提案 (約5,000㎡)

- 駅直結の利便性を活かし、従来の図書館の概念にとらわれず、多世代の人々が気軽に訪れ、知識を深め、趣味を楽しめる新たな「サードプレイス」を提案します



ワークショップスペース等の併設
(イメージ)

■ 民間施設に関する提案 (約1,000㎡)

- デッキ広場に面する2Fにも配置し、新中央図書館や商業施設(エビスタ西宮)との相乗効果を発揮し、文教住宅都市の新たな顔にふさわしい賑わいを生む民間施設を提案します



子どもの集い場
(イメージ)



産学官連携教育・文化拠点
(イメージ)



スキルアップ、キャリア施設
(イメージ)

※民間提案施設は参考事例になります

■ その他提案

- 新中央図書館には、利用者が活用しやすい様々なICT関連機能の導入を提案します
- 市民の方々の生涯教育の場として活用頂けるよう、成長段階に合わせた最適な読書推奨を行う新たなアプリなどの導入を提案します



ぴたりえタッチ「絵本推奨AI」
(西宮市北口図書館)

2 3 デッキテラス・商業エリア

(多世代が憩う場づくりとエリア間の連携)

- 公民複合施設の2階には、本施設と阪神西宮駅・商業施設(エビスタ西宮)を行き交う人々の憩いの場となるべく、緑豊かな植栽を配したデッキテラス(まちなか広場)を整備します
- 市民が気軽に集えるイベントや商業施設(エビスタ西宮)と連携した取組みを行うなど、デッキテラス(まちなか広場)を活用し、駅前空間の賑わいの創出を図ります



デッキテラス(まちなか広場)
(イメージ)



エビスタ西宮

4 住居エリア

(まちなか居住の推進)

- 駅前立地を活かした高度利用により、歩いて暮らせる利便性の高いまちなか居住を推進するとともに、定住人口の増加にもつながる質の高い住環境を整備します
- また、強靱なインフラと停電時も電気の供給が継続できるエネファーム(家庭用燃料電池コージェネレーションシステム)の活用やZEH*対応等の検討を進め、人々へ快適で安全・安心な環境にやさしいカーボンニュートラルなライフスタイルをご提案します



住居例(イメージ)

※「ZEHゼッチ」とは「Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略で、住まいの断熱性能省エネ性能を向上させ、太陽光発電などの設備でエネルギーを創ることにより、空調・給湯・照明・換気などの一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅を言います。